

組合員のみなさま・地域のみなさまへ



JA三原産直市

本郷店  
三原店

三原市下北方一丁目 1-13  
電話 0848-85-0485  
営業時間 9:00~17:00  
三原市皆実四丁目7-28  
電話 0848-63-3446  
営業時間 9:00~17:00

# やっさふれあい市場だより

2021.7  
NO.55

## 生産者さんをご紹介します！

三原市西野にお住いの、貞時 通男【69歳】(さだとき みちお)さんにお話を伺いました。

貞時さんは約2アールの圃場で、ほうれんそう、枝豆、小松菜、レタス、キャベツ、大根など約9品目を栽培されています。

貞時さんをご両親が農業をされており、お勤めをされながら週末にご両親の農業のお手伝いをされてきました。そして、ご両親が農業を引退されるのを機にお仕事を退職され、農業を始められたそうです。今年で農業を始められて22年になりますが、満足のいく農作物を栽培できるようになったのは約10年前からだそうです。農業を始められて10年間は肥料などのことも全く分からなかったそうです。失敗からご自身の圃場に合う品種を見つけたり、肥料を試行錯誤することで満足のいく農産物を栽培できるようになったそうです。農業の楽しさについて貞時さんは、「手間暇かけて世話をした農産物が芽を出してくれれば、それだけでうれしいです。さらに、実をつけてくれると、より一層うれしいです。」とおっしゃられていました。また、産直市に出荷をするようになって、お客さんから直接声をかけてもらえるようになったことも、やりがいの一つだそうです。貞時さんは「農産物の形や色などの見た目も大事ですが、食べ物なのでとにかくおいしさを追求しています。」とおっしゃられていました。そして、おいしさを追求した自慢のお野菜を消費者の方々に手に取ってもらい、食べてもらいたいという思いから少しでも安く販売できるようにしているそうです。今年は枝豆(茶豆)を約1万本から1万2千本植え付けをされているそうで、取材にお邪魔した際にもお昼の一番暑い時間帯でも畑で収穫作業などを行われていました。納得のいく農産物が栽培できるようになって約10年ですが、草むしりや水やりが非常に大変だそうです。特に夏場のこの時期は乾燥により水分不足になりやすく、水分不足になってしまうと3粒莢の割合が減ってしまったり、実が太りずらくなるそうです。その為、天気や土壌の湿り具合を確認しながら適宜、灌水を行っているそうです。雨の少ない年はこの灌水が非常に大変だそうです。

貞時さんは旅行や映画、温泉巡り、小説など趣味も非常に多い方でした。貞時さんご自身のブランドである「えまちゃん」のパッケージを作成されています。「えまちゃん」のパッケージを見つけたら是非買って見て下さい！！

《貞時 通男さんから消費者の皆様へ》

味もよく、栄養満点な野菜になるように肥料や水やりなどしっかりと手間をかけて栽培しています。「えまちゃん」野菜を是非一度食べて見て下さい！！



貞時 通男さん



枝豆の収穫作業



元気に育っている枝豆



